

包括連携協定に至る経過

立命館大学の強み

- これまでから京丹後市において学生によるフィールドワークを展開
- R-GIROが有する先進的な6次産業化拠点としての活動の蓄積

立命館
大学
グローバル
イノベーション
研究機構
(R-GIRO)

京都府の目的

- 「丹後あじわいの郷」を拠点とした丹後地域における農業・漁業の10次産業化を展開

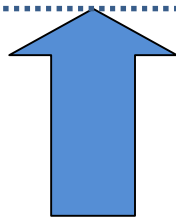
農林水産業分野以外にも連携・協力可能な分野を拡大
(大学による地域貢献の推進)

平成26年1月27日 包括連携協定の調印

包括連携協定で実施する事業のうち先行実施する事業のイメージ

丹後あじわいの郷を拠点とした
農業・漁業の10次産業化を展開

- ・6次産業化成功事例の要因解明と今後の可能性調査
- ・農業・漁業の次世代人材育成(4次産業化)

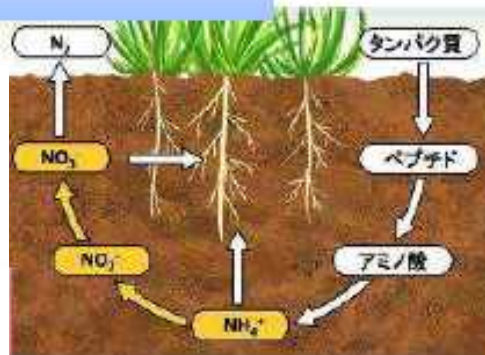
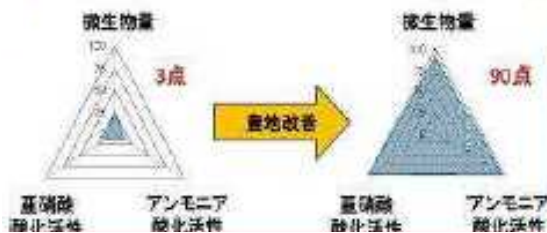


大学の
ノウハウ
活用！

微生物活用による高品質生産
(丹後国営開発農地)

科学的有機農業技術による食料生産

- ・土壌診断指標開発
- ・堆肥診断指標開発
- ・有機資材診断指標開発



土壌中の窒素の循環



機能的野菜等
施設園芸団地
(国営開発農地)



地域食材の食事提供
加工商品の開発販売



農家・漁師レストラン



観光農畜水産業の推進

- ・国営開発農地の土壌肥沃度マップづくりと実態に応じた土壌改良による高品質農産物生産の実証
- ・国営開発農地内の条件不利ほ場における地域特産物の可能性調査

